

# 墨俣小学校だより



◇学校の教育目標◇  
自分から正しく判断でき、  
豊かな心で世界へはばたく子  
—校訓 誠実—

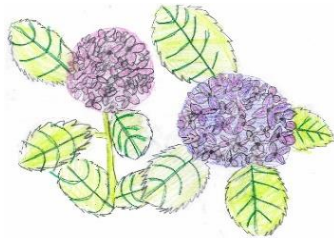
HP <http://www.ogaki-city.ed.jp/sunomata/>

学校メールアドレス [sunomata@ogaki-city.ed.jp](mailto:sunomata@ogaki-city.ed.jp)

## 遠くの遊園地より近くの公園を

校長 西田拓郎

昨年の夏休みのこと。留守家庭指導教室に来ていた子に声を掛けました。  
「夏休みはどう？ どこかへ行った？」  
すると、きょとんとした表情で言うのです。  
「先生はさあ、夏休みかも知れんけど、ぼくたちは毎日学校へ来とるんやよ。何にも変わらへん。」  
私は悪いことをやってしまったと思いました。  
「ごめんごめん。そうだったね。」  
そう言うしかありませんでした。ところが、  
「でも、留守家庭教室も結構たのしいよ。みんなと遊べるから。」  
と言います。私の言葉かけをそんなに悪くはとらえていないようです。そして、目を輝かして言いました。



「日曜日は、お母さんもお父さんもお休みだから、家でもいっぱい遊んでもらうんだ。」  
「そうか。そうか。楽しみだね。」  
こどもたちは、遠くの遊園地に連れて行ってもらうことより、お父さんお母さんと近くの公園でいっしょに遊んでもらうことの方を期待しているのかもしれません。

絵：3年 牧野有莉

登り棒入道雲のてっぺんへ

拓郎

### 墨俣と俳句②

#### 郷土の俳人・長谷川双魚がつくった墨俣小枝歌

「みくらみくら 城のあとそよ風めぐる あふる土の香」

「水きよき 長良川 光りあふれて 伊吹はるけし」

に表されたふるさとを愛しふるさとを誇りに思う気持ち。

「手をつなぎ 高らかに 歌う幸の子」

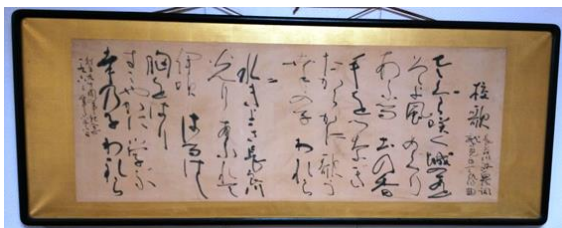
「胸をはり すこやかに 学ぶ幸の子」

に込められた子どもたちの健やかな成長を願う思いと愛情。

五音と七音の洗練された言葉で綴られたこの墨俣小学校の枝歌の作詞はまさに郷土の俳人・長谷川双魚（一八九七～一九八七）によるものです。昭和三十八年に制定され、墨俣小学校創立九〇周年記念式典にて披露されました。五十年間以上も先輩たちが大切に思い歌い継いできたという歴史あるものです。

墨俣町本町に生まれた長谷川双魚は、墨俣小学校、大垣商業高校で学んだ後、貿易商に勤めました。二十五歳のときに墨俣へ戻ってきて、墨俣小学校の教員となりました。その後は、英語の教員として現在の岐阜女子短期大学、岐阜薬科大学などの教授を務めました。弟の長谷川朝風の勧めで飯田蛇笏の弟子となり、俳誌「雲母」に入会します。「双魚」は蛇笏につけてもらった俳号です。全国的に著名な俳人となりました。昭和四十三年には岐阜県俳句作家協会会長、翌年顧問となります。木下青嶂から俳誌「青樹」を継承しました。書家、英文学者としても知られております。

墨俣小学校は五年後に創立一五〇周年を迎えます。



# 1学期 様々な学校支援

## ありがとうございました

1学期末の7月にも、地域の学校支援ボランティアの方に、校庭の除草をしていただきました。また、3年生の「豆まき体験」に、JAの講師の方に土づくりや豆まきの仕方を教えていただきました。大豆の収穫を楽しみに活動できました。



6日（土）には、大垣消防署東分署から講師をお迎えし、5，6年生の児童と保護者を対象に救命救急講習会を行いました。夏休みのプール開設に向けて、緊急の場合を想定しての講習に、保護者の皆様には、真剣に参加していただきました。

1学期は71日間でした。多くの保護者や学校支援ボランティア、講師の皆様にご支援いただき、様々な教育活動を充実させることができました。ありがとうございました。



豆まきの様子

救命救急講習会



# 暑さに負けずがんばった1学期

7月4日（土）には結団式を行いました。この日も暑さに負けずに活動できました。本年度の運動会のスローガンは「心を一つに 全力 努力 助け合い」です。応援団員一人一人がとても大きな声で自己紹介をし、やる気を伝えていました。早速、「心を一つに」を目指し、礼や基本の姿勢などを練習しました。団長の号令にあわせて、1年生から6年生が大きな声とそろった礼を目指しました。

運動会は、9月21日（土）です。これから始まる夏休みには熱中症に気を付け、栄養と睡眠を十分とって、元気に2学期がスタートできるようにしましょう。